Telephone 3

取扱説明書

JACOB JENSEN™

JACOB JENSENTM T-3 テレフォンをお買い上げいただきしてありがとうございます。
この T-3 テレフォンは、 デンマークの Jacob Jensen のデザインによるものです。 彼の生み出す製品は、 独創性に富むシンプルでクラシカルなデザインにより、 国際的な評価を得ています。 Jacob Jensen は、 これまでに世界各国で 100 件にのぼる賞を受けており、 ニューヨークの近代美術館のデザイン･スタディ･コレクションおよびデザイン・コレクションには、彼のデザインした製品 19 点が収められています。

T-3 テレフォンは、 外部電話線につないで使用します。 パルス回線及びトーン回線で使用できます。 卓上設置と壁掛けの両方に対応し、リダイヤル機能や14 件までの番号登録機能やミュート機能を備えるほか、 着信音量設定および受話音量調節ができます。

■ 本器の取付け

A. テーブルスタンドを使用する場合 : 付属のテーブルスタンドを次の方法で取り付けてください。

1. テーブルスタンドの細長い突起部を底部の溝にカチッと音がするまで差し込みます。
2. コイル状コードのモジュラーコンタクトを受話器と本体のプラグに差し込みます。
3. 電話線を本体と電話コンセント（家庭用のモジュラー式のソケット）につなぎます。

B. 壁掛けの場合 : 次の方法で本器を壁に取り付けてください。

1. 電話線のコードを本体裏面の溝に収納し、本器の下から外に出して壁の電話コンセントにつなぎます。
2. モジュラージャックの隣の穴にあるボタンをペンや指先で押し、同時に本体からブラケットを引き出します。
3. 壁に取り付けたネジ（付属の木ネジ）に本器を取り付けます。
※設置の際は、 本体の穴位置をご確認の上、 電動ドリル等でφ6mm 程度の下穴を開けて頂きます。
4. コイル状コードと電話線を電話コンセント（家庭用のモジュラー式のソケット）に再びつなぎます。

■ 電話のかけ方

受話器上部を人差し指で軽く押さえると受話器がはずれます。

1. 受話器をとってツーという音が聞こえるのを確認します。
2. 電話番号をダイヤルします。
3. 電話をかけ終わったら受話器を戻します。

■ リダイヤル

相手が話し中だったり、 もう一度電話をかけなおしたいときには、 REDIAL/PAUSE [◐/P] を押すと同じ番号が自動的にリダイヤルされます。 この番号は、 次に別の番号をダイヤルするまで保存されます。
また、 リダイヤル機能は交換機 (PABX) を介して行うことも可能です。

1. 受話器をとってツーという音が聞こえるのを確認します。
2. REDIAL/PAUSE [◐/P] を押します。
3. 最後にダイヤルした番号へ自動的にリダイヤルされます。
※番号の桁数が 31 を超える場合は保存されません。

■ ワンタッチナンバー／ツータッチナンバー登録

本器は、最大 20 桁の電話番号をワンタッチナンバーで 3 件まで、ツータッチナンバーで 10 件まで登録できるメモリー機能を備えています。電話番号の登録は次の方法で行います。

A. ワンタッチナンバー

1. 受話器をとってツーという音が聞こえるのを確認します。
2. STORE を押します。
3. 登録する番号を入力します。
4. M1、M2、M3 のいずれかのキーを押します。
5. 受話器を戻します。

B. ツータッチナンバー

1. 受話器をとってツーという音が聞こえるのを確認します。
2. STORE を押します。
3. 登録する番号を入力します。
4. STORE を押します。
5. 0-9 までの番号のいずれかを押します。
6. 受話器を戻します。

番号を登録する途中で誤った番号を入力してしまった際には、R- キーで修正することが出来ます。

■ 番号を保存する

MEM+ を使って番号を保存することも可能です。番号をダイヤルした後、STORE と MEM+ を押すと、その番号は次回新たな番号が登録されるまで保存されます。受話器をとってツーという音が聞こえるのを確認した後 MEM+ を押すと、保存した番号へ自動的にリダイヤルされます。

番号をメモリー登録する際にポーズを挿入することもできます。
ポーズを挿入するには REDIAL/PAUSE /P を押します。（例 : 0　REDIAL/PAUSE　70226033）

■ 自動ダイヤル

ワンタッチナンバー : 受話器をとってツーという音が聞こえるのを確認した後、M1、M2、M3 のいずれか (登録先) のキーを押します。

ツータッチナンバー : 受話器をとってツーという音が聞こえるのを確認した後、MEMORY キー と 0-9 までの番号のいずれか (登録先) を押します。

■ 登録番号の消去

すべての登録番号を消去する場合には、STORE ・ * ・ # ・0・6・ * を押します。

■ ミュート機能

受話器の MUTE を押し続けている間は、通話用マイクがオフの状態になります。
ボタンをはなすと通話用マイクはオンの状態に戻ります。

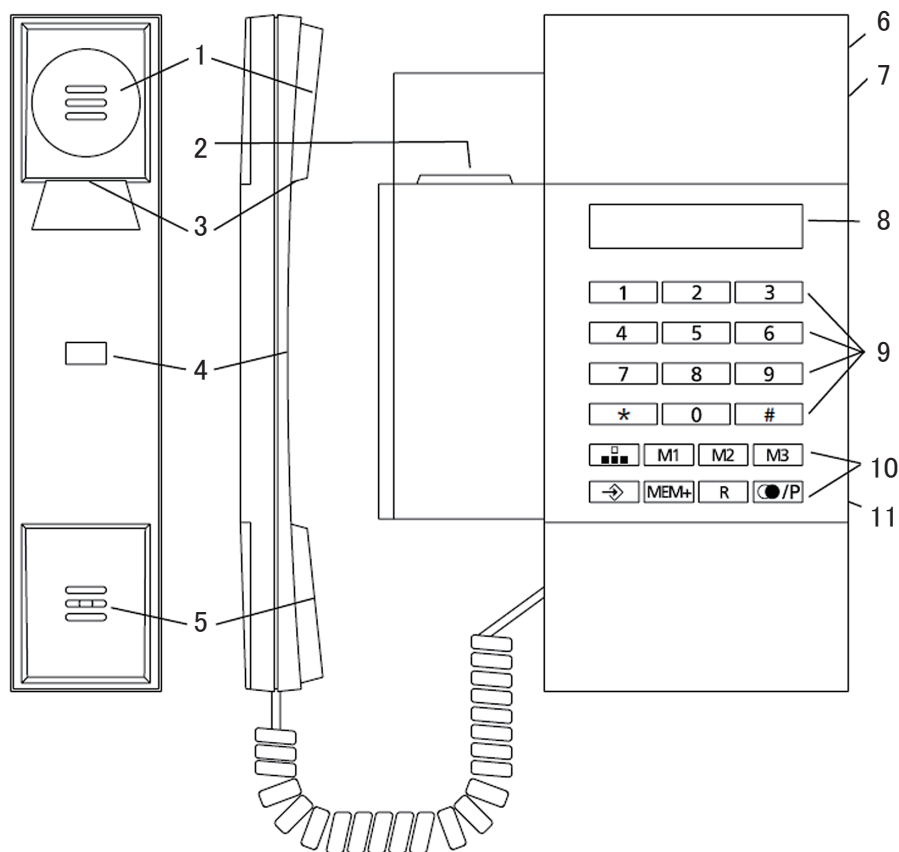
■ 音量設定

音量設定は HIGH /LOW で調節することが出来ます。
本体裏のつまみをスライドさせ、調節してください。

■ 通話時間の表示

通話中、ディスプレイにあなたが受話器をとった時点から通話時間が表示されます。
59 分 59 秒以降は、再び 0 からカウントされます。
あなたが受話器を置いた時点で、自動的にカウントが停止されます。

■ R- キー

R- キーは、交換機（PABX）を通して電話をつなぐ際に使用します。
ある番号への呼び出しを終えてまた別の番号に電話をかけ直す際、もしくは“キャッチフォン (特別な電話サービス)”を受ける際に、R- キーを使います。

■ 各部のはたらき

1. 受話部
2. フック
3. フックボタン
4. マイクロフォンスイッチ
5. 送話部
6. スピーカー (本体裏)
7. 電話線プラグ
8. ディスプレイ
9. 番号キー (12 箇所)
10. ファンクションキー (8 箇所)
11. 音量調節つまみ
    (本体裏 HIGH /LOW)

■ ファンクションキーのはたらき

キー	名称	はたらき
	MEMORY	登録した番号へ発信する
M1	M1	ワンタッチナンバー
M2	M2	ワンタッチナンバー
M3	M3	ワンタッチナンバー
MEM+	MEM＋	番号を保存する
	STORE	番号をメモリーに登録する
R	R- キー	交換機を繋ぐ場合や電話会社の特殊サービスを利用する際に使用
/P	REDIAL/PAUSE	最後に発信した番号を保存 / ポーズを挿入
*	*	特別機能キー
#	#	特別機能キー
MUTE	MUTE	ミュート機能